

## 令和元年度 第4回幼稚園等初任者研修報告

静岡県総合教育センター（あすなろ）を会場に、7月22日（月）～24日（水）の2泊3日で第4回幼稚園等初任者研修会が開催されました。静西管内からは26名が、静東管内からは27名の幼稚園等の初任者が参加しました。



今回は、静岡県内の初任者が一同に顔を合わせ、宿泊を伴って実施されました。研修内容だけでなく、他地域の仲間との交流も深めることができました。

主な研修内容は、以下の通りです。

<p>&lt;第1日目&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児教育の現状と課題 (講話) 幼児教育センター 宮澤礼子 室長</li> <li>・ 本県学校教育の重点 (講話) 松井和子 教育監</li> <li>・ 「ことばと心を育てる絵本の読み聞かせ」 (講演) 静岡文化芸術大学 松本なお子 非常勤講師</li> <li>・ 遊びのポケットを広げよう (グループワーク)</li> </ul>
<p>&lt;第2日目&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ けがや感染症への対応と予防 (講話) 健康体育課 岡村めぐみ 教育主幹</li> <li>・ 人権教育の推進 (講話) 人権教育推進室 増田三保子 室長</li> <li>・ 「運動遊びを通して、いかに子どもは育つのか」 (講演) 静岡大学教育学部 吉田和人 教授</li> <li>・ 幼児期の遊びと小学校音楽教育とのつながり (講義) 静岡県立短期大学部 山本学 講師</li> <li>・ 遊びのポケットを広げよう (グループワーク)</li> </ul>
<p>&lt;第3日目&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員の勤務・サービス (講義) 義務教育課 下東孝司 教育主幹</li> <li>・ 1学期を振り返って (グループワーク)</li> <li>・ 先輩教員に学ぶ (講話) 磐田市立長野幼稚園 大澤知可子 教諭</li> <li>・ 遊びのポケット発表会</li> </ul>

### 【幼児教育の現状と課題について】



#### (研修生の声)

- ・ 幼児教育の現状や課題についていろいろ考えさせられた。もっと公立園の保育のよさを保護者に伝えるためにはどうすればよいか考えていきたい。
- ・ 保護者の関心はサービス面に目が行きがちであると聞き、保育で大切にしていることについて伝えることができる力を伸ばしていきたいと感じた。

### 【松井和子 教育監による講話】



#### (研修生の声)

- ・ 子どもからの信頼は、保護者からの信頼に繋がっていくので、言葉遣いや身なりにも気をつけ、笑顔で対応するよう心がけていきたい。
- ・ 信頼される教師になるためにどうあったらよいか立ち止まり考える機会となった。保護者の立場に立ち、行き違いがないよう誠実な対応に努めていきたい。

### 【静岡文化芸術大 松本なお子先生による講演】



#### (研修生の声)

- ・ 昔、自分が読んでもらった楽しい思い出がよみがえってきた。とても実践的な講義だったので、夏休み明けの絵本選びの参考にしたい。
- ・ 具体的に絵本を示しながら、優れた絵本を読み聞かせることで子どもたちに様々な育ちがあることを学ぶことができた。

### 【事例を通してけがや感染症への対応について学ぶ】



#### (研修生の声)

- ・ クラスの子どもたちの様子を思い浮かべながら聞いていた。体調が悪い原因を一つに決めつけず様々な観点から考えていけるようにしていきたい。
- ・ 年齢が低いと、体調が悪いことを言えなかったり、不調であっても遊びが楽しく無理をしていたりする場面があり、少しの変化も見逃さないよう心がけていきたい。

### 【人権に関わる課題について考える】



#### (研修生の声)

- ・ 間違い探しをしている時の指示の声で、とても焦る気持ちになった。振り返ってみると、自分は子どもたちに対して、人と比べるような声掛けや急き立てるような話し方をしていなかったか反省した。
- ・ 自分と相手の感じ方は違うことに気付くことが重要であると聞き、改めて人権について考えることができた。

### 【静岡大 吉田和人 先生による講演】



#### (研修生の声)

- ・ 発達のために運動を行うのではなく、子どもがどれだけ運動遊びに夢中になれるかが大切であることを知り、今後、楽しめる環境づくりに心掛けたいと思った。
- ・ 専門家による指導が決して子どもの体力を伸ばすとは言えず、子どもの興味関心を最も理解している教師が積極的に関わることが大切であるという話が印象に残った。子どもの発達や運動遊びの姿を確かに捉え、難しすぎず易しすぎない遊びを考えていきたい。

### 【静岡県立短期大 山本学 先生による講義】



#### (研修生の声)

- ・ 自分が知らなかった手遊び歌をたくさん知ることができたので、さっそく2学期からの保育に取り入れていきたい。
- ・ 実践的な内容であり、しかも楽しく多くのことを学ぶことができた。自園に帰った時、実際に子どもを前にして行うことができるような手遊び、歌遊びもあり活用していきたい。

### 【教職員の勤務・サービスについての講義】



#### (研修生の声)

- ・ 自分の軽い気持ちや言動が法に反することや信用を失うことに繋がるため、プライベートでも公務員として立ち止まって考えていかななくてはならない。
- ・ いつでもどこでも周りの人からは先生として見られていることを忘れてはいけないと感じた。
- ・ 具体的な事例をあげていただき、とても参考になった。自分の SNS 等を見直してみたい。

### 【先輩教員に学ぶ】



#### (研修生の声)

- ・ 先輩も同じ悩みや不安を抱えていたことを知り、共感するとともに自分自身も頑張っていこうと気持ちを新たにすることができた。
- ・ お話を聞き、たくさんのエネルギーをいただいた気がした。分からないときはどんどん質問することや小さなことでも記録を重ねていくことに心掛けたい。

### 【遊びのポケットを広げよう ～グループワークを通して手遊び・歌遊びをバージョンアップさせ発表～】





### (研修生の声)

- 一つの手遊び歌をレベルアップし、「どうすれば楽しくなるか」「ねらいに迫るためにはどうすればよいか」などについて考えを出し合って進めていった。互いの意見を尊重しながら一つのものを作り上げることができた。
- 発表では、自分にはないアイデアがたくさんあり、すごいなあと感心した。一方で負けてはられない、もっと頑張っていこうという活力になった。発想の転換をし、いろいろな角度から材料（素材）と向き合い研究していきたい。
- 発表会では、見ている時も演じている時も思わず笑みがこぼれ、教師自身が思い切り楽しむことができた。先生方のアイデアや教材の工夫をたくさん知ることができた。
- 一人で考えると息が詰まってしまう時があったが、今回、班の仲間で作ったり、たくさんのグループの発表を見たりする中で、取り入れたいものも多くあった。マンネリ化せず、常に新しく楽しいものを紹介できる保育者でありたい。

## 今回の研修を通して

- 合同の研修会であったため、様々な地域の子どもや園の様子などを聞くことができた。自分の保育に関する不安や悩みを共有するとともに、課題への解決方法をとともに考える機会となった。3日間であったため、じっくり保育について考え学びを深めることができ、充実した研修となった。頭の中の整理とともに、モチベーションをあげるきっかけとなった。
- グループワークの話し合いを通して、一つのものを作り上げていく大変さや達成感を感じた。意見を聞いている中で、こんな風にしたらもっといいのではないかという思いが出てきたが、思いつきで言っただけではなく、相手が納得できるように分かりやすくまとめて伝える力も必要であることを学んだ。
- 「遊びのポケット」の発表や準備では、班内でいろいろ話し合い、どんどん仲も深まっていった。なかなか交流することのない西部地区の初任者とも話をすることができた。会う機会は少ないが、今回の出会いやつながりを大切にしていきたい。
- 大学の時の講義では、受け身で聞く場面が多かったが、今回の研修では、普段の子どもの姿と講義の内容と照らし合わせて聞くことができたので、より深い学びとなった。今回学んだことを心にとめながら保育していきたい。
- 友達と話す中で「子どもに何を育てていきたいのか」、「どんなことをしていきたいか」が見えてきた。今すぐ使いたい手遊び歌も見つかり、早く子どもたちに会いたくなった。

